

2025年日本国際博覧会

ジュニア EXPO 2025

SDGsアイデアプレゼンテーションを
考えよう！

KEIRIN
00

競輪の補助事業

万国博覧会の始まり 最先端の技術とアイデア

国立国会図書館ウェブサイトより



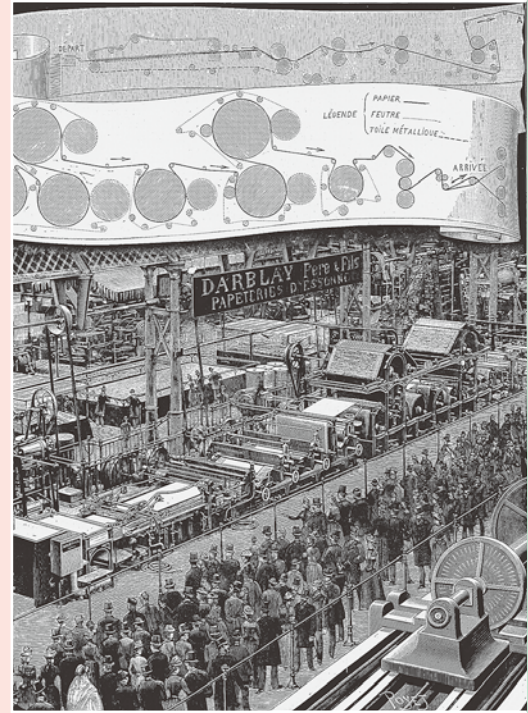
1867年パリ万国博覧会 水圧式エレベータ



1851年ロンドン万国博覧会
記念すべき最初の万博の会場 クリスタル・パレス



1889年パリ万国博覧会 会場の様子



1889年パリ万国博覧会 印刷機

日本で開催された最初の万国博覧会

1970年日本万国博覧会

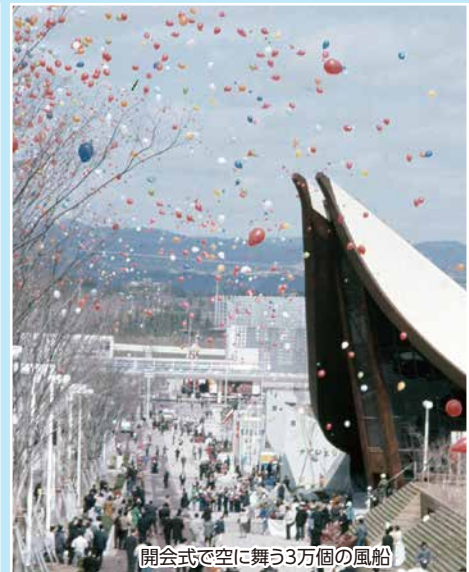
多くの人が集まり、予感した未来



テーマ館 太陽の塔と多くの来場者



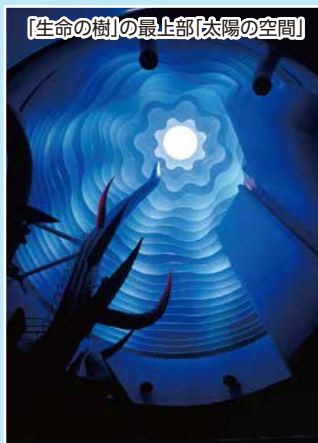
開会式



開会式で空に舞う3万個の風船



テーマ館
生物の進化の過程を表す
「生命の樹」



「生命の樹」の最上部「太陽の空間」



開会式



さまざまな国からの参加者



さまざまな制服でおもてなし



自動車館 交通ゲーム

日本の万国博覧会

さまざまなテーマで未来を考える



沖縄

1975～1976年沖縄国際海洋博覧会



茨城

写真提供:公益財団法人つくば科学万博記念財団

1985年国際科学技術博覧会



大阪

写真提供:公益財団法人国際花と緑の博覧会記念協会

1990年国際花と緑の博覧会



愛知

©GISPRI

2005年日本国際博覧会



日立グループ館



サンヨー館 人間洗濯機



アメリカ館 宇宙服とアポロ8号



フランス館



アメリカ館



ソニー館 人工衛星



生活産業館



スイス館



山梨館

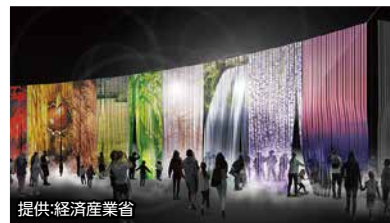
2010年^{シャンハイ}上海国際博覧会



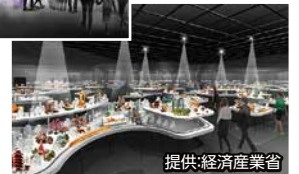
2015年ミラノ国際博覧会



2020年ドバイ国際博覧会



提供:経済産業省



提供:経済産業省

※開催は2021年に変更



2025年日本国際博覧会(大阪・関西万博)
再び、大阪から未来が始まる!



提供:経済産業省

CONTENTS 目次

01

万博(万国博覧会)とSDGs

授業1	2025年日本国際博覧会(大阪・関西万博)は、 わたしたちとどのようなつながりがあるのだろう?	1
資料のページ	博覧会の歴史	3
	2025年日本国際博覧会(大阪・関西万博)	7
授業2	SDGsは、わたしたちとどのようなつながりがあるのだろう? ・ジュニアEXPOまでのロードマップ	9 13

02

未来社会クリエイターとしてアイデアを生み出そう

授業3	「“すべての”いのち輝く未来社会」のためのあなたのアイデアは?	15
授業4	実社会のSDGs達成に向けた取組が大切にしていることは?	19
資料のページ	SDGs達成に向けた取組事例	23
	日本のSDGs推進に向けた取組	26
授業5	自分たちなりの「“すべての”いのち輝くSDGsアイデア」は?	27
授業6	「SDGsアイデア」を実現させるために必要なことは? ～アイデアミーティング～	29
授業7	実現させるためには、 ^{だれ} 誰と、どのように協力すればよいのだろう?	31
授業8	伝える相手の心を「共創」へと動かすプレゼンテーションとは?	33
授業9	中学校EXPO 未来社会クリエイターによるSDGsアイデアプレゼンテーション	35

03

「“すべての”いのち輝く未来社会」のために

授業10	「“すべての”いのち輝く未来社会」のために大切にしたいことは?	39
------	---------------------------------	----

An abstract graphic featuring several parallel diagonal lines in yellow, blue, pink, green, and orange, converging towards the top right corner. Various colored circles (orange, green, blue, pink, yellow, red) are placed along these lines. A large blue circle in the lower-left quadrant contains white Japanese text.

世界中から
たくさんの人が集まり
未来を思う万博。

**さあ、
いっしょに
未来を考えよう!**

01

万博(万国博覧会)とSDGs

エスディージーズ

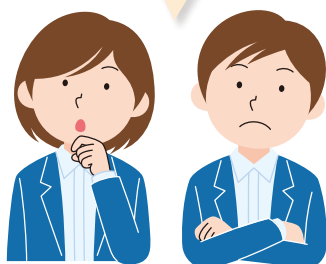
万博・SDGsは、わたしたちにとってどんな意味をもつのだろうか？

授業 1

2025年日本国際博覧会(大阪・関西万博)は、 わたしたちとどのようなつながりがあるのだろう？

世界中の人々が注目する万国博覧会。初めに、わたしたちの生活との
つながりから見ていきましょう。

万博と博覧会は
どこが違うの？



博覧会は、さまざまな新しい技術や芸術文化
を集めて展示し、多くの人に未来を感じさせる
イベントです。



万博、つまり「万国博覧会」の「万国」とは、世界
のすべての国のこと。世界中のいろいろな国々が
参加する博覧会で、**博覧会国際事務局という国際
機関が認めた博覧会だけが、万博を開催すること
ができる**んですよ。



万博・博覧会に出展されたもの

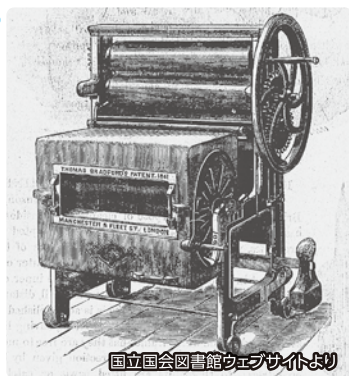
万博・博覧会には、さまざまな分野の、その当時の最新技術・アイデアが出展されます。そして、
そこから、わたしたちの生活に欠かせないさまざまなものが誕生してきました。

生活を便利にするもの

クイズ1

生活を便利で豊かにする技術の出展は、見る人を引き付け、それぞれの時代の人々に未来を予感
させるものでした。次の①～③は、それぞれどのような技術を紹介したものでしょうか。

①



1862年
ロンドン万国博覧会(イギリス)

- ☐ ア ミシン
☐ イ 洗濯機
☐ ウ オーディオプレイヤー



②



1903年
第5回内国勸業博覧会

- ☐ ア 灯台
☐ イ エレベーター
☐ ウ 高層ビル



③



1970年
日本万国博覧会(日本 大阪府)

- ☐ ア ワイヤレステレホン
(携帯無線電話機)
☐ イ 自動マッサージチェア
☐ ウ カプセルホテル

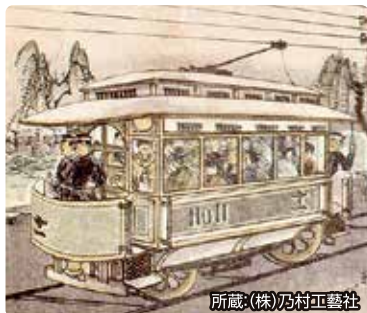


乗り物

クイズ2

街の様子や社会の発展と共に、さまざまな輸送技術が紹介されました。次の①～④の万博・博覧会で紹介された乗り物を、年代順に並べ変えましょう。

① 路面電車



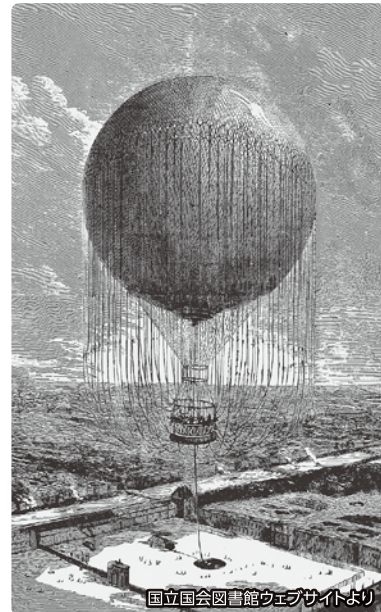
所蔵：(株)乃村正藝社
第4回内国勸業博覧会

② 蒸気機関車



国立国会図書館ウェブサイトより
ロンドン万国博覧会（イギリス）

③ 熱気球



国立国会図書館ウェブサイトより
パリ万国博覧会（フランス）

④ 電気自動車



1970年日本万国博覧会（日本 大阪府）



次のページに
年表がありますよ。
調べてみましょう。



輸送技術（乗り物）も、
実は、万博から
始まっていることが
多いんだね。



エンターテインメント

クイズ3

万博・博覧会には、人々を楽しませる新しい技術も紹介されてきました。では、次の①～③は、それぞれ何でしょうか。



1903年
第5回内国勸業博覧会
国立国会図書館ウェブサイトより



1903年
第5回内国勸業博覧会
所蔵：(株)乃村正藝社



1893年
シカゴ万国博覧会（アメリカ合衆国）
国立国会図書館ウェブサイトより

①

②

③



今では遊園地などで当たり前になっている
アトラクションばかりだよ。



世界や日本のできごとと、
万博・博覧会の関係を、年表
で確認しましょう。

世紀 18 19

世界や日本のできごと

■産業革命が
イギリスで始まる

〔紡績機の発明〕
〔蒸気機関の改良〕
〔鉄道の開通〕

産業技術の発達

■電話機、モーター、発電機、白熱
電球の改良が進み、電力の実用
化が進む

二度の世界大戦

1914～1918年
第一次世界大戦

1939～1945年
第二次世界大戦

江戸時代

明治時代

大正時代

■外国との貿易
が活発になる

■近代産業の育成(殖産興業)
■欧米文化の導入(文明開化)

1941～1945年
太平洋戦争

1853年 ペリーが浦賀に来航

1859年 横浜・長崎・函館などを開港

■明治維新

初めて設定されたテーマ
は、「進歩の世紀」。
その後、どんなテーマが
設定されていくのかな？

万博のテーマ
の移り変わり



この万博から初めて
テーマが設定された。

主な万国博覧会・国際博覧会

1851年ロンドン万国博覧会
(イギリス)

「世界の工場」のイギリスで、
第1回目の万国博覧会が開催。
鉄骨とガラスのクリスタル・パレ
スや、蒸気機関車を見るために、
多くの人々が来場しました。



国立国会図書館ウェブサイトより

1873年
ウィーン万国博覧会
(オーストリア)

1878年
パリ万国博覧会
(フランス)

1876年
フィラデルフィア万国博覧会
(アメリカ合衆国)

発明品として、ベルの電話、エ
ディソンの電信装置、レミントン
社のタイプライターなどの機械
が紹介されました。巨大なコー
リスエンジンが動く様子に人々は
とても驚きました。

1933～1934年
シカゴ万国博覧会
(アメリカ合衆国)
「進歩の世紀」

科学、技術、機械
工学などに展示の重
点がおかれました。
また、電車や自動車
といった近代の交通
手段や「未来の住宅」
が展示されました。

1935年
ブリュッセル万国博覧会
(ベルギー)
「民族を通じての平和」

1937年
パリ万国博覧会
(フランス)
「現代生活の中の芸術と技術」

スペイン内戦でドイツ
空軍による史上初の都市
無差別爆撃が行われ、
その惨状への怒りを表
したピカソの『ゲルニカ』
が展示されました。

1877年第1回内国勸業博覧会

1881年第2回内国勸業博覧会

1890年第3回内国勸業博覧会

1895年第4回内国勸業博覧会

1903年第5回内国勸業博覧会

幻の万博！ 1940年
紀元2600年記念日本万国博覧会

日本の発展と万博への参加

1867年のパリ万博には、「江戸幕府」と2つの「藩」が
出展しました。直後に明治維新となり幕府は滅亡し、1873年の
ウィーン万博には初めて「明治政府」として出展しました。

新しい日本を世界にアピールする目的がありました。



所蔵(株)乃村工藝社

▲ウィーン万博出展へのリハーサルの様子(東京 湯島聖堂)
中央に、金の鯨(シャチホコ)が見える

ないこくかんぎょう

内国勸業博覧会が生んだもの

内国勸業博覧会とは、国内の産業発展
をねらい、欧米諸国と日本の技術の出会
いの場として始まったものです。会場と
なった地域には、新しい建物が建ったり、
路面電車が走るようになったりするなど、
地域の発展のきっかけにもなりました。



所蔵(株)乃村工藝社

えいきょう

政治の影響

聞新日毎阪大
外 誌

万国博覧会に延期
事變終了後まで

「1938年7月14日付
大阪毎日新聞」
所蔵(株)乃村工藝社

日本の博覧会エピソード

万博は、その時代の社会と大きく影響を受け合っているんだね。



2025年の万博は、どんな万博になるんだろう？



20

21

科学技術の進歩

環境問題の深刻化

地球規模の問題への取組

■冷たい戦争（冷戦）が始まる
1969年 アポロ11号
月面着陸に成功

■地球環境問題の国際会議が行われる

■グローバル化が進む

2015年 SDGs採択

昭和時代

平成時代

令和時代

■日本の経済が発展
（高度経済成長）

■公害問題の深刻化

1997年
京都議定書採択

世界中が競うように**科学技術**を**進歩**させ、万博はその**成果を発信**する場となった。

水質汚濁や空気汚染や森林破壊、それによる生き物への影響など、**環境問題**に世界が注目。万博では、それに対する**解決策**が提案された。

環境と豊かな暮らしを両立させるためのアイデアが示された。

科学技術の進歩

環境

持続可能な社会へ

1962年
シアトル21世紀万国博覧会
（アメリカ合衆国）
「**宇宙時代の人類**」

1970年
日本万国博覧会（日本 大阪府）
「**人類の進歩と調和**」

アジアで初めて開催された博覧会で、発展途上国も多く参加しました。科学技術の進歩を発信すると共に国際理解が深まりました。



1974年
スポーケン国際環境博覧会（アメリカ合衆国）
「**汚染なき進歩**」

経済優先の考え方を見直し、環境の再生をめざしました。

1982年
国際エネルギー博覧会
（アメリカ合衆国）
「**エネルギーは世界の原動力**」

1984年
ルイジアナ国際河川博覧会
（アメリカ合衆国）
「**河の世界—水は命の源**」

1998年
リスボン国際博覧会
（ポルトガル）
「**海洋—未来への遺産**」

2000年
ハノーバー国際博覧会
（ドイツ）
「**人間—自然—技術**」

2005年日本国際博覧会
（『愛・地球博』日本 愛知県）
「**自然の叡智**」

会場では、自然エネルギーを活用したり、リサイクル可能な素材を使ったりする、環境に配慮した工夫が取り入れられました。



1975～1976年沖縄国際海洋博覧会（日本 沖縄県）
「**海—その望ましい未来**」

1985年
国際科学技術博覧会
（日本 茨城県）
「**人間・居住・環境と科学技術**」

1990年
国際花と緑の博覧会
（日本 大阪府）
「**自然と人間との共生**」

アジア初の大国際園芸博覧会として、花と緑を通じて地球環境を考える展示が行われました。

2010年上海国際博覧会
（中華人民共和国）
「**より良い都市、より良い生活**」

2015年ミラノ国際博覧会（イタリア）
「**地球に食料を、生命にエネルギーを**」

2020年ドバイ国際博覧会※
（アラブ首長国連邦）
「**心をつなぎ、未来を創る**」

※開催は2021年に変更

を受けた万博

じんむ そくい
神武天皇即位から2600年とされる1940年に、日本での万博開催を予定していましたが、長引く戦争により開催できず幻の万博とよばれています。

万博延期を報じる新聞

念願だった日本初の万博

日本で初めての「万国博覧会」は、大阪で開催されました。

まぼろし
幻となった1940年の万博で購入していた入場券は、1970年日本万国博覧会で特別入場券と交換することができ、実際にこの特別入場券で入場した人が何人もいたということです！



クイズの答え

クイズ1

- ①イ：洗濯機…木製で、下の箱に服を入れてハンドルを回して洗濯し、上のローラーで脱水としわをのばすくみだった。
- ②イ：エレベーター…地上45メートルの「大林高塔」に設置された。
- ③ア：ワイヤレスステレホン（携帯無線電話機）…電気通信館で展示された。

クイズ2

② → ③ → ① → ④

クイズ3

- ①イルミネーション、②ウォーターシャウト、③観覧車

2025年
日本国際博覧会
（大阪・関西万博）
「**いのち輝く
未来社会のデザイン**」



提供 経済産業省

● 日本で開催された万博

日本で初めての万博は大阪で開催されました。その後、国際的な博覧会が何度も開催され、人々はそこで出会う「未来」に、心を弾ませたり、深く考えたりしました。

念願だった
初めての万博は
大阪

1970年日本万国博覧会



テーマ 人類の進歩と調和

日本で初めて開かれた万国博覧会。世界中の最先端の技術が集まり、国内外からたくさんの人たちが訪れました。



沖縄 1975～1976年沖縄国際海洋博覧会

テーマ 海—その望ましい未来

海をテーマにした博覧会。海に浮かぶ人工島アクアポリスは、未来の海上都市のモデルとして注目されました。

現在は、沖縄美ら海水族館のある海洋博公園に生まれ変わっています。



©読売新聞社

経済成長と共に…
科学技術の発展

公害・環境問題の深刻化を受けて…
自然と人間との共生

1970年
日本万国博覧会
人類の進歩と
調和

1975～1976年
沖縄国際海洋博覧会
海—その望ましい
未来

1990年
国際花と緑の博覧会
自然と人間との
共生

1985年
国際科学技術博覧会
人間・居住・環境と
科学技術

2005年
日本国際博覧会
自然の叡智

★ 2025年
日本国際博覧会
(大阪・関西万博)
が開催！ ★

次の万博は、どのような
テーマなのでしょう。



万博について …博覧会国際事務局(BIE)という国際機関にみとめられた博覧会です。国際博覧会ともよばれます。

1985年国際科学技術博覧会

茨城



テーマ 人間・居住・環境と科学技術

今の日本の科学技術の原点ともいえる、当時の最新の科学技術・産業技術が紹介されました。

クイズ4

当時「現代の空飛びゅうたん」とよばれたこの乗り物は何でしょうか。



写真提供:公益財団法人つくば科学万博記念財団

1990年国際花と緑の博覧会

大阪

テーマ 自然と人間との共生

訪れた人は、「野原」「街」「山」の3つのエリアで、自然と人間との共生を考えました。



写真提供:公益財団法人国際花と緑の博覧会記念協会

ニックネームは「愛・地球博」

2005年日本国際博覧会

愛知

テーマ 自然の叡智

21世紀の自然と人間との関わりを探索し、提案していくことをめざして開催されました。自然環境に配慮した会場づくりが行われました。



クイズ5

愛・地球博の会場には、バイオ・ラングという緑化へきが設置されました。バイオ・ラングの良いところは何でしょうか。



- ① まちの気温上昇を避けられる
- ② 暖かくすることができる
- ③ 強い風がでる

さまざまなテーマがあるんだね。



最初は、「技術の進歩」に重点が置かれていましたが、時代の変化と共に、「地球」や「環境」についても注目されるようになりました。



2025年日本国際博覧会(大阪・関西万博)について

2025年大阪・関西万博は、どのような万博をめざしているのか、映像を見てみましょう。

『万博がめざす未来』

映像を見て、わかったこと、大切だと思ったことを書こう!



提供:経済産業省

2025年日本国際博覧会(大阪・関西万博)
4月13日~10月13日



世界は今、大きな変化を迎えています。そして、生活を劇的に変化させる革新的な技術も進歩していくでしょう。しかし一方で、先進国と発展途上国との生活環境の格差は広がっています。

「いのち輝く未来社会のデザイン」というテーマには、世界中すべての人にとっての「幸せな生き方とは何か?」を考え、「すべての」いのち輝く未来社会のためにアイデアを出し合ったり、解決方法を考えたりしてほしいという思いが込められています。

3つの“Lives”

2025年の大阪・関西万博では、次の3つの“Lives”にフォーカスしながら「いのち輝く未来社会」をデザインしていきます。

Saving Lives いのちを救う

感染症への取組、
健康寿命の延長

■ライフスタイル
(食生活と運動)

■衛生、感染予防

Empowering Lives いのちに力を与える

AIやロボットを活用した
教育や仕事

■教育

■仕事と生涯教育

■コミュニティへの参画

Connecting Lives いのちをつなぐ

異文化理解の促進、
イノベーション創出

■コミュニティ

家族、会社、友人、地域社会
(村、町、国、世界)

■ステークホルダー

政府、企業、NGO、金融、学生など

2025年大阪・関西万博がめざすもの

2025年大阪・関西万博
のテーマは、
SDGsがめざす姿と
同じなんだね！



持続可能な開発目標（SDGs）達成への貢献

SDGsとは、「誰一人取り残さない」ことを誓い、国連で採択された世界共通の目標（ゴール）です。世界が一つになって取り組むSDGsのめざす姿は、世界中の一人一人の幸せを考え、「いのち輝く未来社会」をめざすという2025年大阪・関西万博のテーマと合致します。

2025年大阪・関西万博が開催されるのは、SDGs達成目標の年である2030年の5年前。

世界中から人々が集まり、未来を創るアイデアを交換したり、新しいアイデアを生み出したりすることで、さまざまなSDGsの取組が少しでも早く目標達成に近づくことをめざしています。



-People's Living Lab- 未来社会の実験場

2025年大阪・関西万博の会場は、これまでにない新しい技術や革新的なアイデアを実験する場となるよう計画が進められています。

特に、世界中の人々と考えを出し合ったり、協力して考えたりできるような技術を活用することで、さまざまな人が協力して創り上げる「共創」という考え方を実現しようと準備を進めています。

この大阪・関西万博で実験する技術やシステムは、大阪・関西だけでなく、日本中、世界中へとネットワークを広げていきます。これからの社会で、たくさんの人とつながって、協力して未来を創っていくきっかけになることを願っています。



言語の異なる
世界中の人とアイデアを
交換することができる！

最寄りの駅から展示会場まで、
簡単に、安心して
移動することができる！

共通の社会課題に
世界中のみんなと
取り組むことができる！

会場にいなくても
2025年大阪・関西万博に
参加することができる！

会場の誰もが
共に考え、
議論することができる！

世界中の人と「共創」できる
たくさんのしくみが
計画されているんだね！



クイズの答え

クイズ4 リニアモーターカー クイズ5 ①まちの気温上昇を避けられる

授業 2

SDGsは、わたしたちとどのようなつながりがあるのだろう？

SDGsの達成と、「いのち輝く」、「わたしたちが幸せに生きる」ということはどのような関係があるのでしょうか。



SDGsって、聞いたことがあるけれど、あまりよくわかっていないんだ。

SDGsは、2025年大阪・関西万博がめざす“すべての”いのち輝く未来社会」と、とてもつながりが深いのです。



●「いのち輝く」

「いのち輝く」を自分に当てはめて考えてみましょう。

●自分の「いのちが輝いている」場面

●自分の「いのちが輝いていない」場面

自分の身近な人の「いのち輝く」場面はどんなときかも想像してみよう。



世界中の“すべての”いのち輝くについて考えてみましょう。

写真から、気づいたことや考えたことを話し合ってみましょう。



©Takayoshi Kusago

- ある村には、まだ電気が通っていません。子どもたちは燃料やあかりとなる「薪」を集めるため、学校に行くことができません。
- 大人は農作業で忙しく、火おこしなどの家事は子どもたちの仕事です。

メモ



写真提供: 鈴木革/JICA

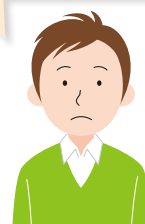
- ある都市の周辺部には、雨風をしのぐだけの家屋に、多くの人に住んでいます。
- 安定した仕事に就くことは難しく、食料不足や生活の悪化が大きな問題になっています。

メモ

世界中で多くのいのちが輝くことができていないのは、なぜでしょうか。理由を考えてみましょう。

●自分の考え

「輝くことができないいのち」があるのなら、たとえ自分が輝いていたとしても、「“すべての”いのち輝く」とはいえないね。



●「“すべての”いのち輝く未来社会」のためのSDGs

貧困、紛争、テロ、気候変動、資源の枯渇など世界にはまだ多くの課題が残されており、いのちが輝くことができない人たちがいます。

だからこそ、「誰一人取り残さない」世界を創るという世界共通の目標（ゴール）、SDGsの達成が不可欠なのです。

サステナブル・デベロップメント・ゴールズ
SDGs (Sustainable Development Goals)

とじょうこく
発展途上国の人々にはとても重要な問題なんだね！



SDGsで目標としているのは、発展途上国のためだけのゴールなのでしょうか。わたしたちにも関係しているんですよ！



●わたしたちの未来から考えるSDGsとのつながり

現在の世界が抱えるさまざまな問題を解決しないままだと、どのような未来になるのか、架空の未来を見てみましょう。「いのち輝く未来」を思い描いている3人は、それを実現できるでしょうか。

こんな未来になってしまったのは、どのような問題をそのままにしたからなのか、関連していると思うSDGsの番号を書きましょう。

Aさん  スポーツが好き。 身体を動かす 仕事を したいな。	Bさん  やりがいのある 仕事をしながら、 家族で楽しく くらしたい。	Cさん  趣味の アウトドアで 大自然を 満喫したい！
Aさんは、スポーツインストラクターとして働きながら、一人暮らしをしています。 未来の日本では、気候変動の影響により、自然災害が多発し、農作物がほとんど穫れなくなりました。 新鮮な野菜や果物などは値上がりし、簡単に手に入るものばかり食べているので、栄養が偏ってしまっています。 食費がかかるため、もうずいぶんと3食十分に食べることができず、体調を崩しがちです。しかし、仕事を休むと収入が減るため、医療費が必要な病院には行くことができない日々が続いています。	都市部の企業に就職し、働き始めて数年が経ちました。 未来の日本では、必要なエネルギーの多くを輸入している相手国で国内紛争が悪化し、日本への燃料輸出がストップしてしまいました。そのため、消費人口の多い都市部では、大規模な計画停電がずっと続いています。毎日、料理や洗濯、風呂など、電気を使える時間を気にして生活しています。 一方、両親が住む遠く離れた地域では、自然エネルギーを活用した電力供給が安定しています。 都市部での仕事にやりがいは感じますが、電気のない生活はとても不便で、将来、両親を都市部によんで「いっしょにくらそう」と誘うことはできないと思っています。	Cさんは、キャンプが趣味で、週末にはよく友達と山に遊びに行きます。 未来の日本では、都市部への人口集中が進んでいます。 気軽に訪れることができるキャンプ場はいつも混雑し、自然を満喫することができません。しかも、そこにはキャンプをした人のごみが多く残されており、付近には不法投棄された危険物などもあります。 近くの川や森の植物や動物にも影響が出ています。 そこでCさんは、新たな場所を探し遠く離れた山まで行くようになったのですが、その地域に住む人からは車の排気ガスや騒音・交通渋滞など、これまでの穏やかな生活ができなくなるという苦情が出始めています。
●関連するSDGs	●関連するSDGs	●関連するSDGs



わたしたちの「いのち輝く」生き方にも、たくさんのSDGsが繋がっているんだね！

自分が、こんなふうに「いのち輝いていたい！」という未来を想像してみましょう。
あなたの「いのち輝く未来」はどの目標(ゴール)がつながるでしょうか。



誰一人取り残さない世界を創るための17の目標

未来をより良いものにしたいという、世界中の人たちの思いから生まれたのがSDGsです。

2030年に向けて、達成すべき目標を17にまとめたSDGsは、「誰一人取り残さない」ことを誓った世界共通の目標（ゴール）です。



今、世界中で「いのち輝く」ことができない人たちが多く取り残されています。それには、こんな理由が考えられます。



このように考えると、世界でも、みなさんの近くにもたくさんの方が取り残されていることがわかんと思います。



だから、誰一人取り残さない、「すべての」いのち輝く未来社会を創ることが大切なのです。

「“すべての”いのち輝く未来社会」のために わたしたちは何ができるのだろうか？

世界中から「叡智^{えいち}」を集め、「新しいアイデア」を生み出す万博。

2025年日本国際博覧会(大阪・関西万博)は、世界中のさまざまな人と共に考え、
アイデアを創る「共創」をめざしています。

わたしたちにはどんなことができるのでしょうか。映像を見てみましょう。

🎬 ミッション映像『共に創る「“すべての”いのち輝く未来社会」』

ジュニアEXPOまでのロードマップ

「SDGsアイデア
プレゼンテーション」
作りのステップ

世界中から「叡智^{えいち}」を集める

中間発表

万博と同じようなステップでSDGsアイデア
プレゼンテーションを作り、万博の考え方に
ふれてください！

🚀 ミッションスタート!

授業
1

2025年日本国際博覧会
(大阪・関西万博)は、わたしたちと
どのようなつながりがあるのだろうか？

ふりかえり

授業
2

SDGsは、わたしたちと
どのようなつながりがあるのだろうか？

ふりかえり

授業
3

「“すべての”いのち輝く未来社会」
のためのあなたのアイデアは？

ふりかえり

授業
4

実社会のSDGs達成に向けた取組が
大切にしていることは？

ふりかえり

授業
5

自分たちなりの「“すべての”
いのち輝くSDGsアイデア」は？

ふりかえり

授業
6

「SDGsアイデア」を実現
させるために必要なことは？
～アイデアミーティング～

ふりかえり

中間発表

◆ MISSION ◆

未来社会クリエイターとして、「“すべての”いのち輝くSDGsアイデア」を考え、プレゼンテーションする。

これからの社会を考えるためには、未来の中心となるみなさんの考えが欠かせません。そのため、みなさんからたくさんのアイデアを聞き、いっしょに考える、ジュニアEXPOを開催することにしました。

これから未来を担うみなさんを、「未来社会クリエイター」として任命します。

みなさんには、SDGs達成に向けた自分たちなりのアイデアを考え、それぞれの中学校で「中学校EXPO」を開催して話し合ってもらいたいと思います。

そこで選ばれたアイデアと代表者は、ジュニアEXPOに参加して、プレゼンテーションしてください。みなさんのアイデア提案、待っています！

2025年日本国際博覧会

ジュニア
EXPO
2025



02

未来社会クリエイターとしてアイデアを生み出そう

「“すべての”いのち輝く未来社会」のために、
わたしたちは何ができるのだろうか？

授業 3

「“すべての”いのち輝く未来社会」のための あなたのアイデアは？

SDGsの達成に向けて、世界中の国々で、また日本でも国や地方自治体、企業・団体、そして、身近な地域で、さまざまな取組が行われています。



「誰一人取り残さない」、「“すべての”いのち輝く」という視点で
今の社会を見直してみましょう。

今まで気がつかなかったけれど、「誰一人取り残さない」と
いう考え方をすると、身近なところにも問題が見えてくるなあ。



● 課題の設定

世界や日本の問題、身近な問題を調べ、課題を設定しましょう。

「誰一人取り残さない」「“すべての”いのち輝く未来社会」を実現するための問題を調べたり、身近な地域や身の回りの問題・困りごとに目を向けたりして、解決が必要だと思う問題を書こう！

P.17～P18を
参考にしよう！

● 解決が必要だと思う問題

特に自分が「解決しなければ」と強く思う問題を選び、自分の課題として設定しよう！

関連する目標（ゴール）に
○をつけよう！

● 自分の課題



を解決したい！

● SDGs達成に向けた取組のリサーチ①

自分が設定した課題を解決するには、何を、どうすればよいのでしょうか。自分たちのSDGsアイデアの参考にするために、実際に行われている取組を調べてみましょう。

SDGs達成に向けた取組を調べ、参考になると思うものを書こう!

● 調べた取組 ①

● 取り組んでいる人

● 対象 (どんないのちを輝かせようとしているのか)

● 内容

● 調べた取組 ②

● 取り組んでいる人

● 対象 (どんないのちを輝かせようとしているのか)

● 内容

● 調べた取組 ③

● 取り組んでいる人

● 対象 (どんないのちを輝かせようとしているのか)

● 内容

● 調べた取組 ④

● 取り組んでいる人

● 対象 (どんないのちを輝かせようとしているのか)

● 内容

● 自分たちなりのSDGsアイデア構想

ここからグループで考えましょう!

さまざまな取組がされていますが、これまでにない、新しいアプローチも期待されています。SDGs達成に向けて、どんなことが必要だと考えますか?自分たちなりのアイデアを考えてみましょう。

● SDGsアイデア

● 対象 (どんないのちを輝かせようとしているのか)

● 内容

調べた取組で、「すごい」「いいな」と感じたことを参考に、「ここが足りない、こうでできるかもしれない」というアイデアを考えてみましょう。



だれ
「誰一人取り残さない」「“すべての”いのち輝く未来社会」を**実現するために解決しな**け



世界のことが多いと思って
いたけど、日本にもさまざま
な問題が多いんだね。



お金がなくてくらしていけない。

世
界

世界には、十分な食料や安全な飲み
水を得られない人たちがたくさんいる。
金銭的な貧困だけでなく、「大切な
ものが欠けている」という意味で貧困
である人たちもとても多い。

日
本

ほかの家庭より低い所得の「相対的貧困」や、
「貯蓄がない」状態の人たちは少なくない。



食べ物が無い。足りない。

世
界

世界には、長期間にわたって十分に食べ
られず、生活が困難になるほど栄養不足に
なっている人たちがとてもたくさんいる。

日
本

日本は、多くの農作物を輸入している
にもかかわらず、食べられるのに捨てられ
てしまう食品(食品ロス)がとても多い。



病院や薬がない。

世
界

妊産婦や新生児の死亡率が高く、
5歳まで生きられずいのちを落とす子
どもが少なくない。

日
本

お酒やたばこの乱用、ドラッグなど
によって健康な生活を続けられない
人がいる。



教育を受けることができない。

世
界

世界には、小学校に通えない子ども
がいる。大人になっても字を読めない
人も多い。

日
本

経済的な理由で、進学をすることが
できない、行きたい学校に行くことが
できない人たちがいる。



男女の差。良い教育を受けることができない、良い仕事もない。

世
界

女の子という理由だけで学校にも
通わせてもらえず、幼いうちに結婚
させられる国がある。

日
本

日本は世界の中でもジェンダーギャップ(男女の
格差)が激しい国といわれている。特に、「政治」に
関する格差は依然として大きい。



飲める水がない。トイレもない。

世
界

衛生的な水が手に入らない地域が
ある。水運びの労働をするため、教育
を受ける機会をのがす子どもがいる。

日
本

バーチャルウォーター(農作物や製品の輸入は、
その生産に使用された水の輸入と同じ)という考
え方も重要である。



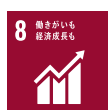
電気やガスが使えない。

世
界

世界には、いまだに電気を使えない生活
を送る人もいて、薪や炭を燃やして料理
をしたり暖をとったりする人も多い。

日
本

日本はエネルギー資源の多くを輸入に頼っており、
化石燃料への依存度も高い。再生可能エネルギー
の積極的な導入が求められている。



仕事がない。あってもひどい仕事だけ。

世
界

劣悪で危険な環境の長時間労働
や、児童労働、人身売買など多くの問題
がある。

日
本

非正規労働者、ワーキングプアが増えており、過労
死、過労自殺に追い込まれる人も後を絶たない。

だれ
誰一人

さまざまな取組によって改善しているゴールもあれば、反対に対策が急務になってしまったゴールもあります。

世界や日本の最新の情報を調べてみてもよいでしょう。



道路も電話もパソコンも使えない、 お金も借りられない。 仕事にならない。

世界 世界には、水道・電気・衛生的なトイレなどのインフラが整備されていない国や地域が多くある。

日本 大きな災害でインフラが破壊され、復旧に時間がかかることがある。



いろいろなことが不平等。

世界 先進国と発展途上国、豊かな人と貧しい人、男性と女性、障がいがある人となない人、人種、民族、宗教の違いなど、世界中にはさまざまな不平等や差別があり、格差の原因となっている。

日本



地球温暖化で、 災害や被害が増える。

世界 地球温暖化によって、地球の平均気温の上昇、猛暑、豪雨などの異常気象や、洪水、干ばつなどの災害が増えている。

日本 化石燃料への依存度が高い日本では、省エネ・再生可能エネルギーへの大きな転換が求められている。



海が汚れ、海の生物がいなくなる。

世界 水産物の獲りすぎや人間が出すプラスチックごみにより海洋汚染が進んでいる。

日本 海の汚染は、陸からの影響が大きいといわれている。主な原因は、二酸化炭素、生活・農業・工業廃水、油やごみなどが考えられる。



陸上の生物がいなくなったり、 緑がなくなったりする。

世界 開発により森林面積は減少。多くの生物が絶滅の危機にある。

日本 日本では適切な管理がされず放置された人工林が増えている。土地の保水力が低下し、土砂災害の原因にも。



戦争や暴力が絶えない。

世界 多くの子どもたちが紛争地域でくらしていて、戦闘の犠牲だけでなく、住む場所を奪われたり飢えたりしている。

日本 虐待、家庭内暴力、いじめなど、日常の中にもさまざまな暴力が存在している。



家がない。バスや鉄道がない。 まちにたくさんのごみ。 災害に弱いまち。

世界 「スラム」とよばれる衛生環境の悪い地域でくらす人が多く、ごみ問題、犯罪増加などの問題がある。

日本 災害に強いまちづくりと共に、地方創生・地域活性化に向けた取組が求められている。



つくる人もつかう人も無責任。

世界 安価で購入できる商品の裏には、低賃金労働の問題がある。

日本 日本の食品ロスはとても多く、家庭内のものと事業系のものがある。

取り残さない

授業 4

実社会のSDGs達成に向けた取組が大切にしていることは？

SDGsの17の目標を達成し、「誰一人取り残さない」「“すべての”いのち輝く未来社会」を実現することは、簡単にできるものではありません。そこで、企業・団体などがもつ新しい技術や、イノベーションアイデア、そしてしくみを活用したアプローチが期待されています。



取組が単発のイベントで終わっては効果が期待できません。

そのため多くの企業・団体では、ビジネスにSDGsの視点を入れ、無理のない活動にしていこう(活動自体を持続可能にするアプローチ)に取り組んでいます。

自分たちのアイデアを実現させるために大切なポイントだ！



企業・団体のSDGs達成に向けた取組事例

それぞれの企業・団体は、どのような取組をしているか線で結んでみましょう。また、なぜそのような取組をしているのか、考えてみましょう。

※ジャパンSDGsアワード受賞企業・団体の取組を題材としています。

「見える喜び」を
国内外で広げる
プロフェッショナルな
メガネ店

株式会社富士メガネ

地域に根ざした
経営を大切にする
小売業
(スーパーマーケット)

イオン九州株式会社

「衛生」「環境」「健康」
という3つの事業で
世界に貢献したい
衛生製品メーカー

サラヤ株式会社

豊かで快適な
住生活を届けたい
住まいと暮らしの
総合住生活企業

株式会社LIXIL

CO₂削減と農業の活性化



難民への視力支援活動



安全で衛生的な トイレの提供



手洗い普及活動



どの企業の取組も、
それぞれの「強み」を
いかしているんだね！

ジャパンSDGsアワードとは

ジャパンSDGsアワードは、SDGs達成に向けた企業・団体等の取組を促し、オールジャパンの取組を推進することを目的として、優れた取組を行っている企業・団体等を、SDGs推進本部として表彰するものです。

● “すべての”いのち輝くSDGsアイデア検討

授業3で考えた、自分たちなりのSDGsアイデアを、実現性の高いものにしていきましょう。

STEP1 実現したいアイデア

- 自分たちなりのアイデアが実現している姿

どのような“すべての”いのち輝く未来社会を実現したいか、思い描くことが大切です。



- その実現のために必要なこと

STEP2 自分たちにできること

中学生だからこそできること(いかせる「強み」)はないかな？



やはり、自分たちだけでアイデアを実現するのは難しそうだな…。

STEP3 協力してもらう必要があること(どんな人たちや企業・団体きぎょうに、どんなことを協力してもらいたいかな)

協力をお願いするのは、そこが「強み」である人たちだといいですね。



実際の取組をしている人たちは、どんなふうに「協力」しているのか調べてみましょう！



● SDGs達成に向けた取組のリサーチ②

2025年日本国際博覧会(大阪・関西万博)には、多くの企業・団体が「“すべての”いのち輝く未来社会」を実現させるという趣旨に賛同しています。

授業6では、それらの企業・団体とアイデアミーティングを行います。今、実際にどのような取組をしているのか、調べてみましょう。

SDGs



分野	SDGsの達成や実社会の課題解決に向けた取組			
	企業・団体名	取組の内容	めざすSDGs	

チャレンジ 身近な人たち、地域を調べ「自分たちなりのアイデア」を実現するために、協力してもらいたい「強みをもっている人たち」を探してみよう。

- 協力してもらいたい人たち

アイデアミーティング

ねらい

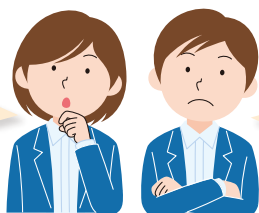
SDGsの達成に向けて取り組む企業・団体と共に、未来社会について考える場。実際の取組の具体的な方法や、大切にしていることを直接聞いたり、自分たちが考えているアイデアを伝え、アドバイスをもらったりする。

それぞれの企業・団体が「どんな強み」をいかしているのか、「どんな人たちと協力して」取り組んでいるのかに注目してリサーチしましょう。



取組でいかしている「強み」	取組を実現するために「協力している人たち」	わかったこと 興味をもったこと 聞いてみたいこと

実現のために協力してほしいことはたくさんあるけれど…。



アイデアの一番のポイントに焦点を絞って考えよう。

ジュニアEXPOでは、地域のさまざまな人たちにプレゼンテーションをします。身近な人たち、地域の企業・団体を調べ、「強み」をもっている人たちを探してみましょう。



02

未来社会クリエイターとしてアイデアを生み出そう

● 企業・団体の取組

SDGsの達成に向け、企業・団体は、それぞれの強みをいかしてさまざまな取組を進めています。

世界の問題を解決するためのアイデアが、実際に実施され、そして継続的な取組として進められていくには、現地の人をはじめとするさまざまな人の協力や、しくみ化がとても重要です。

取組1 株式会社富士メガネ



世界の難民へ、「明日を見える力になりたい。」

「視力が落ちるとメガネをかける」わたしたちにとっては当たり前のことですが、世界中には、メガネをかける必要があるのに、適切な検査が受けられない、メガネを買うお金がない、といった理由でメガネをかけることができない人がたくさんいます。



©UNHCR/Andrew McConnell

■ 海外難民・国内避難民視力支援活動

富士メガネでは、1983年から毎年、海外の難民キャンプや国内避難民の居留地を訪問し、視力検査を行って、一人一人に合ったメガネを無償でおくる活動をしています。

これまでに寄贈したメガネはおよそ170,000組。現地では、通訳の力を借りながらメガネを一人一人に手渡します。ボランティアとして現地で活動する社員以外にも、メガネの製作、度数ごとの仕分けや梱包、発送など、多くの社員が関わり、世界中の人たちに「見える喜び」を届けています。国連難民高等弁務官事務所 (UNHCR) とは世界で一番長期にわたる企業パートナーとして、難民支援活動を共に進めています。

富士メガネ
だから
できること

視力検査から、その人に合った度数のレンズ選び、メガネの製作まで、メガネ作りのプロフェッショナルだからこそできる社会貢献です。複雑なメガネ作りを支える、高度な知識や技術をもつ富士メガネの社員は、「モノが見えることで、人生を助けることができる」という思いをもって活動しています。

取組2 イオン九州株式会社

CO₂排出の削減が、地域の未来を変える

工場で排出されるCO₂。この、地球上のすべての生き物のいのちに関わる重要な問題に対して、関わるさまざまな人にとってメリットがある取組が進められています。



■ 「九州力作野菜®」「九州力作果物®」プロジェクト

味の素(株)九州事業所のアミノ酸を製造する過程で発生する栄養豊富な副生物を肥料に混ぜると、農作物の栄養値が高まり、味もおいしいということがわかりました。肥料として利用すると、その副生物を処理するために発生していたCO₂を年間約2,000tも削減することにつながります。

イオン九州は、地域の農家と協力し、その肥料を使った野菜をつくり、「九州力作野菜®」、「九州力作果物®」としてブランド化して、九州の各店舗で販売をしています。

イオン九州
だから
できること

イオン九州では、地域での強いネットワークをいかし、味の素(株)九州事業所、それを発酵させ肥料を製造する業者、その肥料を使って野菜・果物をつくる農家、そして卸売り・小売り業者など、60社以上と連携してこの取組を進めています。

CO₂削減はもちろん、地域の人たちへの栄養のあるおいしい農作物の提供と、さまざまな人たちの協働によって、農業から九州を活性化することにつながっています。



取組3 サラヤ株式会社



正しい手洗いは、 100万人の「いのち」を救う

戦後間もない日本で、石けんを使った手洗い習慣は感染予防に貢献し、日本の衛生環境を向上させました。

一方で、現在、世界では1日約16,000人も5歳未満の子どもたちがいのちを失っています。その原因の多くは予防可能な病気です。



■ 100万人の手洗いプロジェクトとアフリカではじめての消毒剤製造

サラヤでは、石けんや消毒薬などの衛生商品の売り上げ1%を寄付し、アフリカ・ウガンダの手洗い普及活動を支援しています。

現地では、安全な水で手洗いができる設備を建設するだけでなく、何より、子どもたちに手洗いの重要性を伝える教育、母親への衛生の啓発などの社会貢献をしています。また、ビジネスとしてウガンダで手指消毒剤を製造し、適正な使用法などの衛生マニュアルと共に病院に提供しています。

サラヤ
だから
できること

サラヤは、日本ではじめて薬用手洗い石けん液と容器を開発した会社です。安全な水と石けんで正しい手洗いをすると、下痢や肺炎を引き起こす菌を予防し、特に小さい子どもたちのいのちを守ることができるとわれています。

「正しい手洗い」を広めるためには、現地の学校の協力が欠かせません。地域文化に根差したコミュニケーションを尊重するために、教材の改訂も重ねています。

取組4 住友林業株式会社



天然林の負荷を減らす 持続可能な木材で、 森の「いのち」をつなぐ

森林は、土砂災害の防止、CO₂の吸収、生物多様性の保全など、さまざまな機能をもっています。この機能を保ちながら、木材資源として利用していくためには、「持続可能な木材の調達」の実現が必要で



■ 環境配慮型合板「きこりんプライウッド」

合板の原材料となる東南アジア等の天然木は、近年減少傾向にあります。そこで、植林木・森林認証材※を50%以上使用した「きこりんプライウッド」を開発・販売しています。売上の一部はインドネシアで行う植林費用に充て、地域の人々に無償で苗木を提供し、育てられた植林木が次なる「きこりんプライウッド」の原材料として使われるという循環が生まれています。これまでに105ha(東京ドーム22個分)の植林を行っています。 ※森林認証材：FSC®認証、およびPEFC認証を受けた森から伐り出された木材。

住友林業
だから
できること

住友林業グループは、創業当時から山林経営を行い、「木」を活かした事業を行ってきました。また、グローバルな調達ネットワークを活かして、適正に管理された森林から良質な木材を安定的に調達することができます。木材は計画的・継続的に伐採、再植林されることで、地域に雇用と木材販売収入をもたらし、地域の産業振興にもつながっています。

取組5 パナソニック株式会社

電気のない地域に「あかり」を届けて、未来を照らす

世界には、電気の通っていない「無電化地域」にくらす人々が約9億人※います。

そこでは、日中しか働けなかったり、勉強したりすることができず、十分な収入をえられなかったり、夜間の診療ができなかったりなど、活動が制限されることで多くの機会が失われています。

※ International Energy Agency(2018年)

■ みんなで“AKARI”アクション

パナソニックでは、2013年から2018年にかけて、30か国を超える無電化地域に、10万台以上のソーラーランタンを寄付してきました。この取組のきっかけは、アフリカのウガンダ政府からの「電気のない地域でくらす人々は、灯油ランプが放つ黒い煙による健康被害に悩まされている。力を貸してほしい。」という手紙でした。

2018年3月からは、一般の方々にも、古本などの寄付によって、無電化地域へソーラーランタンを届ける活動に参加いただけるように「みんなで“AKARI”アクション」という活動をスタートしています。

パナソニック
だから
できること

無電化地域で利用できるソーラーランタンを開発するためにいかしたのが、これまで培った「エネルギーを創出し、蓄える」というモノづくり技術です。

活動には、寄付で参加する人やソーラーランタンをつくる人、輸送する人など、多くの人が関わっています。特に、現地のNGO/NPOとパートナーシップを組み、モノを届けるだけでなく、発電をいかして夜の授業を増やすなど、現地の課題を共に解決するよう取り組んでいます。



取組6 株式会社LIXIL

目標は、2025年までに1億人の衛生環境を改善する

世界では、約4人に1人にあたる約20億人が、安全で衛生的なトイレのない環境でくらしています。人目のつかない場所まで用を足しに行く途中で、暴行を受けるケースや、清潔なトイレがないために、通学をあきらめる女子生徒もいて、男女の教育格差にもつながっています。



■ 開発途上国向け簡易式トイレシステム「SATO」

開発途上国向け簡易式トイレシステム「SATO」は、少ない水で洗浄でき、ハエなどの虫による病気や悪臭を減らすしくみになっています。現在、アジア、アフリカの6か国で生産され、38か国以上で約380万台(2020年6月時点の実績)が出荷されています。トイレを設置するためには、上下水道の確保に向けたインフラ整備や、使う人たちの衛生意識改革も不可欠なので、国際機関やNGOと共に活動をしています。

LIXIL
だから
できること

世界中の誰もが快適な住生活を送るための住宅設備製品を開発・提供してきたLIXILは、自社の技術や世界に広がる事業拠点数を強みに取組を進めています。「SATO」を開発途上国のプラスチックメーカーに製造・販売してもらい、設置およびトイレ小屋の建設を担う職人を育成し所得を向上させるなど、誰一人取り残さない社会に向けた、プロジェクトを拡大し、取組を続けています。



日本のSDGs推進に向けた取組

● SDGsアクションプラン2020

日本は持続可能な開発目標(SDGs)推進本部を設置し、SDGs推進のための方向性をとりまとめた「SDGsアクションプラン2020」を決定しました。特に重視して取り組む8つの分野が示されています。

母子手帳は
日本発のしくみ

1 あらゆる人々が活躍する社会の実現

女性の活躍推進

なでしこ銘柄という取組で、女性の活躍を推進する企業を応援。



ほかには、働き方改革、子どもの貧困対策、教育の充実などにも取り組んでいます。

共生社会へ

女性、外国人、高齢者、障がい者など、多様な人材が活躍している企業を表彰。

2 健康・長寿の達成

新しい医療へ

医療に関わるさまざまなデータを活用して、新しい治療法やより良い医療サービスの実現をめざす。



ほかには、企業などの従業員の健康管理の推進や、発展途上国への医療支援などにも取り組んでいます。

日本から世界へ！ 母子健康手帳の普及

25以上の国で、母子健康手帳の普及支援を行い、世界の母子の健康に貢献する。

3 成長市場の創出、地域活性化、科学技術イノベーション

未来社会の実装

AI、自動運転、ドローン等の未来技術による新しい地域の活性化をめざす。



ほかにも、農林水産分野への最新技術の導入などに取り組んでいます。

農林水産分野の活性化

企業とコラボした農業女子プロジェクトなど、農林水産分野の人材育成の推進。

4 持続可能で強靱な国土と質の高いインフラの整備

防災への取組

災害の予測・予防・対応力の向上や水・食料の供給体制の整備など。



ほかには、住みやすいまちづくりやアジア諸国への水処理技術の提供を通じた支援などに取り組んでいます。

アジア・アフリカにおける インフラ支援

タイの都市鉄道「レッドライン」、ケニアの地熱発電計画など日本ならではの「質の高いインフラ」整備を支援。

5 省・再生可能エネルギー、防災・気候変動対策、循環型社会

徹底的に省エネを！

省エネに優れた建物、省・再生可能エネルギーの活用を奨励。



ほかには、環境技術を提供する国際協力、気候変動への対応、食品ロスの防止などに取り組んでいます。

都市鉱山からつくる！ みんなのメダルプロジェクト

使用済み小型家電由来の金属から入賞メダルをつくる。オリンピック史上初の取組。

6 生物多様性、森林、海洋等の環境の保全

森林資源の適切な利用

世界遺産の森林保全や、人工林の適正な管理を支援。



海洋プラスチックごみ対策

「海ごみゼロウィーク」など陸域でごみを減らす取組や、途上国への廃棄物管理についての支援。

7 平和と安全・安心社会の実現

子どもの安全

いじめや虐待など子どもの人権侵害について、SOSミニレターやSNSを活用した人権相談体制を充実。



ほかには、平和維持に関する国際協力など。

女性に対する暴力根絶

家庭内暴力の被害女性や避難する民間シェルター等における被害者支援やセクハラ根絶。

8 SDGs実施推進の体制と手段

2025年大阪・関西万博開催を通じたSDGsの推進や、ジャパンSDGsアワードの実施による取組の紹介や拡大への取組。



ほかには、取組の実施状況の確認や、達成の度合いの確認、企業や団体との連携を実施していきます。

大切なのはわたしたち一人一人のアクションです。
何ができるか、考えてみましょう。



自分たちなりの「“すべての”いのち輝くSDGsアイデア」は？

アイデアミーティングで意見交換^{こうかん}ができるように自分たちなりのアイデアを具体的にし、整理しておきましょう。



実際に取り組んでいる人と話ができる貴重な機会。
「アイデアミーティングシート」で、考えを整理しておきましょう。

自分たちの考えはもちろん、相談したい
ことも書き出しておきましょう。



アイデアミーティングの流れ(例)

ねらい

- 自分たちなりの「“すべての”いのち輝くSDGsアイデア」をプレゼンテーションし、アドバイスをもらう
- ほかのグループのプレゼンテーションを聞き、自分たちなりのアイデアの参考にする
- SDGs達成に取り組む人たちから、取組の具体的な方法や大切にしていることを聞く

参加企業^{きぎょう}

- SDGs達成に取り組む企業・団体^{きぎょう}

事前準備

- 1企業^{きぎょう}に対し、5～6グループでアイデアミーティングを行う
※企業・団体^{きぎょう}の方からアドバイスをいただくため、アイデアミーティングシートを事前送付する

当日の流れ (例)

- 1 企業・団体の講師挨拶^{あいさつ}
- 2 各グループからのプレゼンテーション(3分)+ 各グループへのアドバイス(2分)
※5分×5グループ=25分
- 3 企業・団体の取組紹介^{しょうかい}(10分)
- 4 お礼と挨拶^{あいさつ}

●自分たちがミーティングで話を聞きたい企業・団体^{きぎょう}

第1希望

第2希望

- 理由(どんなことを聞いて、どのようにいかしたいかなど)

アイデアミーティングシート

中学校 年

グループ
メンバー

●ミーティングをする企業・団体

●自分たちが設定した課題(「解決しなければ」と強く思う問題)

●自分たちなりの「“すべての”いのち輝くSDGsアイデア」

●アイデアの具体的な内容

●自分たちなりのアイデアで輝かせることができる「いのち」

●関連するゴール



○をつけよう!

●協力してもらいたい相手(強みをもっている相手)と協力してほしい内容

●アイデアミーティングで相談したいこと

当日、よろしくお願いします!

02

未来社会クリエイターとしてアイデアを生み出そう

企業・団体の取組紹介メモ

企業・団体が、実際にどのように取り組んでいるのかをメモしよう。

- SDGsに取り組んでいる企業・団体の考え(「強み」のいかし方)・大切にしていること など
- プロジェクトをどのように実現させてきたか(協力してくれる人との関わり) など
- その他

2025年日本国際博覧会(大阪・関西万博)では、次の3つの“Lives”にフォーカスしながら「いのち輝く未来社会」をデザインしていきます。

参加する国や企業・団体は、3つの“Lives”から1つ以上を選び、SDGsの17の目標から1つ以上について、解決するための取組やアイデアを提案します。

3つの“Lives”

Saving Lives

いのちを救う

感染症への取組、
健康寿命の延長

Empowering Lives

いのちに力を与える

AIやロボットを活用した
教育や仕事

Connecting Lives

いのちをつなぐ

異文化理解の促進、
イノベーション創出

SDGs 17の目標



それぞれの企業・団体が、
2025年大阪・関西万博で
どのような提案をするのか
楽しみですね。



実現させるためには、^{だれ}誰と、どのように協力すればよいのだろう？

ここからは、ジュニアEXPOに向け、未来社会クリエイターとして「“すべての”いのち輝く未来社会」を創るためのSDGsアイデア共創プランを作っていきます。



これまでの情報を整理して具体的なプランを立てていきましょう。



アイデアミーティングで学んだ、「どのように強みをいかすか」、「誰とどのように協力するか」、「共に創る＝共創プラン」を考えましょう！

●これまでの情報整理

自分たちなりのSDGsアイデアを、より提案性・実現性の高いものへと深めていきましょう。

- 自分たちなりのアイデアに対してもらったアドバイス

- ほかのグループへのアドバイスなどで、参考にできそうなこと

POINT

^{だれ}誰一人

取り残さない未来に向けた「共創」だからこそ実現するアイデアは？

- ^{きぎょう}企業・団体の方の取組を聞き、参考にできそうなこと

- 自分たちなりのアイデアを実現させるために、協力してもらいたい人・^{きぎょう}企業・団体

たくさん書き出そう！

実際に、提案したいと思う人・^{きぎょう}企業・団体を選び、プランを作ろう！

SDGsアイデア共創プランシート

グループ
メンバー

●自分たちが設定した課題(「解決しなければ」と強く思う問題)

●輝かせたいいのち

●自分たちなりの「“すべての”いのち輝くSDGsアイデア」

●アイデアの具体的な内容

●関連するゴール



○をつけよう!

●アイデアを提案する相手
(実現するために協力してもらいたい人・企業・団体)

●その人・企業・団体に
協力してもらいたいこと

●なぜその人・企業・団体が(理由)



伝える相手の心を 「共創」へと動かすプレゼンテーションとは？

● 共に取り組んでほしい人の心を動かすプレゼンテーション

- 5枚のストーリーボードを使って、伝える情報と順番を整理しよう。
- それぞれのボードで何をどうやって伝えるか、シナリオと伝えるための工夫を考えよう。

■ わたしたちは に対して提案します。

	ストーリーボード	シナリオ
スライド 1	①	
スライド 2	②	
スライド 3	③	
スライド 4	④	
スライド 5	⑤	



提案する相手の心に^{ひび}響き、「いっしょにやりたい」と思ってもらえるには、どのようなことを伝えたらよいのだろう？

自分たちなりのアイデアと協力してもらいたい内容はもちろん、世界の問題や現状なども入れたいな。



■ ストーリーボードとは

ストーリーを構想するための下書き。プレゼンテーションの流れ・展開・タイトルや挿入する図・グラフの活用などを考え、イメージを具体的に可視化して構想する。

すぐにプレゼンテーションソフトで作成するよりも、下書きとしてイメージを書き出すことで、よりよいものへと検討するときに役立つ。

発表の工夫(ジェスチャーやしかけ)

02

未来社会クリエイターとしてアイデアを生み出そう

授業
9

未来社会クリエイターによるSDGsアイデアプレゼンテーション

2025年日本国際博覧会(大阪・関西万博)は、特に、さまざまな人と共に考え、アイデアを創る「共創」をめざしています。みなさんの中学校でも中学校EXPOを開き、未来社会クリエイターとして「“すべての”いのち輝く未来社会」について議論してみましょう。



今度の万博がめざす「共創」の場を、みなさんの中学校でも実現させましょう！

お互いに、「提案される人」の立場で聞き合って、「共に創る未来社会」について考えてみましょう！



アイデアプレゼンテーション

ねらい

- 「提案の対象者の立場」で聞いてもらい、アドバイスを**得る**ことで、プレゼンテーションをさらに改善するための視点を**得る**。
- たくさんの提案を聞くことで、「“すべての”いのち輝く未来社会」のためのさまざまなアイデアを知り、未来社会について考えを深める。



効果的なプレゼンテーションにするためには

プレゼンをするときは

- 伝える相手を見て
聞き手の表情や反応から、意図が伝わっているか確認しながら話をしよう。
- コミュニケーションをとりながら
簡単な質問を投げかけたり、共感してもらえらるメッセージで同意を求めたりしてみよう。

プレゼンを聞くときは

- メモを書き分けて
「アイデアの要点」などの内容と、「気になったこと・聞きたいこと」などの自分の意見を区別してメモを取ろう。
- 提案された対象の立場で
アイデアに対して賛成か反対か、初めて聞いてわかりにくい点や共感できた点など、視点をもって聞こう。

「共にアイデアを創る」機会にするためには

- 自他のグループのプレゼンテーションの共通点・相違点を整理し、見方や考え方をいかにせないか検討しよう。
- ほかのグループのプレゼンテーションに対して、積極的に改善案や代案などのアイデアを出したり、率直な感想を伝えたりするなどして、「高めあう」姿勢で参加しよう。

それぞれのプレゼンテーションについてのメモ

●グループ ●対象 ●SDGsアイデア ●内容	●よかったこと・アドバイス
---	---

●グループ ●対象 ●SDGsアイデア ●内容	●よかったこと・アドバイス
---	---

●グループ ●対象 ●SDGsアイデア ●内容	●よかったこと・アドバイス
---	---



中学校EXPOのふりかえり

■ほかのグループのアイデアを聞いて

- ほかのグループのSDGsアイデアを聞いて、心に残ったこと、「すごい」と思ったこと
- わたしのベストアイデア賞(ほかのグループの発表で一番「いいな!」と思ったアイデア)

理由

■自分たちのグループのアイデアについて

- ほかのグループからもらったアドバイスや、ほかのグループのアイデアから参考になると感じたこと

- 自分たちなりのアイデア改善の方向性

今回のプログラムでは、「改善の方向性」を明らかにするところまでですが、興味をもった人は、ぜひ、アイデアの改善に挑戦しましょう!



■ 中学校EXPOの開催について

- 自分たちで中学校EXPOを開催して気づいたことや考えたこと



2025年日本国際博覧会（大阪・関西万博）がめざす「共創」 世界約80億人がアイデアを交換し、未来社会を「共」に「創」る



提供：経済産業省

2025年大阪・関西万博では、コンセプトを「未来社会の実験場-People's Living Lab-」として、来場者が展示を見るだけでなく、「参加者」となれるような工夫が計画されています。

世界中のさまざまな人の「叡智」が集まり、共に考えることで、新たな「アイデアを創造する」、「共創」を実現するために、さまざまな準備が進められています。



中学校EXPOを開催して、さまざまな人の「叡智を集め」、新たな「アイデアを創造」する、まさに、万博を体験することができましたね！

2025年大阪・関西万博は、世界中のさまざまな人といっしょに考えることができるんだ！楽しみだな！



「“すべての”いのち輝く未来社会」のために 大切にしたいことは？

2025年日本国際博覧会（大阪・関西万博）がめざす、「“すべての”いのち輝く未来社会」のために、共に考え、アイデアを創る「共創」。

みなさんは、未来社会クリエイターとして、どのように考え、自分たちなりのアイデアを創ることができたでしょうか。

○ ふりかえり

- 中学校EXPOでの発表に向けた、「共にアイデアを創る」活動を通して、気づいたことや考えたこと

P.13～14のロードマップをふりかえってみましょう。どんなことに気づいたり、考えが変わったりしてきたでしょうか？



このプログラムで、みなさんが体験したように、地球上のみんなで力を合わせて「“すべての”いのち輝く未来社会」を実現させましょう！

- 2025年大阪・関西万博に向けた期待

○ 未来社会を創るわたしの決意

● 中学校EXPOで話し合った自分たちなりのSDGsアイデアでこれから挑戦^{ちようせん}したいと思ったこと

● 「“すべての”いのち輝く未来社会」のために、未来社会クリエイターとして、
自分が大切にしていきたいことや挑戦^{ちようせん}したいこと

03

「すべての”いのち輝く未来社会」のために

みなさんが考えた、
「“すべての”いのち輝く」SDGsアイデア。
そのどれもが、これからの未来を創るために
不可欠な考えです。

2025年大阪・関西万博では、たくさんの人が
「誰^{だれ}一人取り残さない未来社会」の実現に向け

さまざまな叡智^{えいち}を結集し、
未来を共創していく
機会になることを願っています。



参考資料・制作協力

●官公庁関係

大阪府
経済産業省
持続可能な開発目標(SDGs)推進本部

(協力)
大阪府教育庁

●参考図書・ホームページ、写真・映像協力

イオン九州株式会社
NTT技術史料館
株式会社大林組
鹿島建設株式会社
国谷裕子監修 「国谷裕子と考えるSDGsがわかる本」文溪堂
独立行政法人国際協力機構
公益財団法人国際花と緑の博覧会記念協会
国立国会図書館
在日米国大使館 「在日米国大使館公式マガジン アメリカン・ビュー」
サラヤ株式会社
住友電気工業株式会社
住友林業株式会社
公益社団法人セーブ・ザ・チルドレン・ジャパン
一般財団法人地球産業文化研究所
公益財団法人つくば科学万博記念財団
東海旅客鉄道株式会社
一般財団法人日本国際飢餓対策機構
公益財団法人日本ユニセフ協会
株式会社乃村工藝社
パナソニック株式会社
ピクスタ株式会社
藤井秀雄
株式会社富士メガネ
二神敦
毎日新聞社
読売新聞社
株式会社LIXIL

(監修)

伊藤武志(大阪大学 社会ソリューションイニシアティブ 教授)
田和正裕(大阪大学 グローバルイニシアティブ・センター 特任教授)
堂目卓生(大阪大学大学院 経済学研究科教授／社会ソリューションイニシアティブ長)
草郷孝好(関西大学 社会学部教授)

万博学習読本 中学校版

2020年 9月30日

発行:公益社団法人2025年日本国際博覧会協会

〒559-0034 大阪市住之江区南港北1丁目14-16(大阪府咲洲庁舎43階)

TEL:06-6625-8651

編集協力:大日本印刷株式会社 株式会社キャリアリンク

印刷:大日本印刷株式会社



年 組 番 名前